資料ー3-4

減災目標を達成するための各機関の取組状況について

4）その他

大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画（案）の検討

・大規模災害が発生した場合、全国から救助部隊や食糧、生活必需品などの救援物資が集まり速やかに受け入れることが、迅速な救援活動や被害の拡大防止につながる。
・このため、大規模災害時に、必要となる救助部隊の集結場所や救援物資の集配場所となる拠点等配置計画（案）を検討。

●広域防災拠点施設に必要とされる機能

具体的機能	機能の概要
対策本部機能	被災地の情報収集・集約、関係各機関との連絡調整、応急復旧活動の指揮、支援等を行うことができる本部機能
活動拠点機能	広域支援部隊（警察、消防、自衛隊等）や救護班等の一時終結機能及び終結した後に派遣先を調整・決定・連絡等を行うことができるベースキャンプ機能
備蓄機能	被災地域外からの救援物資は輸送されるまでの間の要員用又は被災者用の水、食糧、医薬品、応急復旧用資機材等の備蓄機能
物流拠点機能	被災地域外から被災地域内への救援物資の中継輸送、集積、荷さばき、分配等を行う機能
避難支援機能	避難施設として避難者の収容を行うほか、地域に設置される小規模な避難所の支援を行う機能
空輸・水上輸送拠点機能	ヘリポート等による物資空輸拠点機能、港湾・河川等を用いた水上輸送の拠点機能

上記の機能と合わせ、以下の観点より広域防災拠点候補施設を抽出した。
①避難者の避難生活との干渉を防ぐため、避難所に指定されていない施設
②緊急輸送路から搬入・搬出可能な（出入口が緊急輸送路沿いにある）施設
③河川からの距離が10km以内にする施設

●抽出した広域防災拠点候補施設

施設名	所在地	左右岸	総面積（m2）	屋内	屋外
東京学館新潟高等学校	新潟市中央区	左岸	39,379		
新潟アサヒアレックスアイスアリーナ	新潟市中央区	左岸	77,400		
新潟市産業振興センター駐車場	新潟市中央区	左岸	11,330		
新津東部運動広場	新潟市秋葉区	左岸	49,180		49,180
道の駅花夢里にいつ	新潟市秋葉区	左岸	19,295	4,535	14,760
よこごし公園	新潟市江南区	左岸	49,274		
新潟PA上り、下り	新潟市江南区	左岸	30,410	355	30,055
五泉PA上り、下り	五泉市	左岸	9,050	725	8,325
阿賀野川SA上り、下り	阿賀町	左岸	31,250	2,130	29,120
豊栄SA上り、下り	新潟市北区	右岸	47,484		47484
太夫浜運動公園	新潟市北区	右岸	99,366		
道の駅豊栄	新潟市北区	右岸	24,888	2,248	22,640
新潟県立阿賀野高等学校	阿賀野市	右岸	9,113	9,113	
道の駅みかわ	阿賀町	右岸	5,527	379	5,148
道の駅阿賀の里	阿賀町	右岸	79,312	5,233	74,079

排水対策計画（Ｌ１ブロック）

排水対策計画イメージ(阿賀野川左岸14.8kで破堤した場合)

■ポンプ車配置案(優先度考慮)

優先度①	排水ポンプ車配置箇所
区間	小阿賀野川右岸7.2k～8.8k,橋梁付近 小阿賀野川堤防上
設置台数	他地方整備局派遣70台
アクセスルート	③黒崎SA⇒県道220号⇒県道46号⇒大郷橋⇒県道46号⇒寿橋⇒小阿賀野右岸
氾濫特性等	破堤後早期に氾濫流が到達する。

優先度②	排水ポンプ車配置箇所
区間	信濃川4.0k～8.0k、9.0k～10.6k付近 信濃川右岸堤防上
設置台数	他地方整備局派遣224台
アクセスルート	①新潟防災センターor③黒崎SA⇒国道8号⇒信濃川大橋⇒信濃川右岸堤防
氾濫特性等	鳥屋野潟西地区。地盤高が低く、破堤後に氾濫水が集中する。

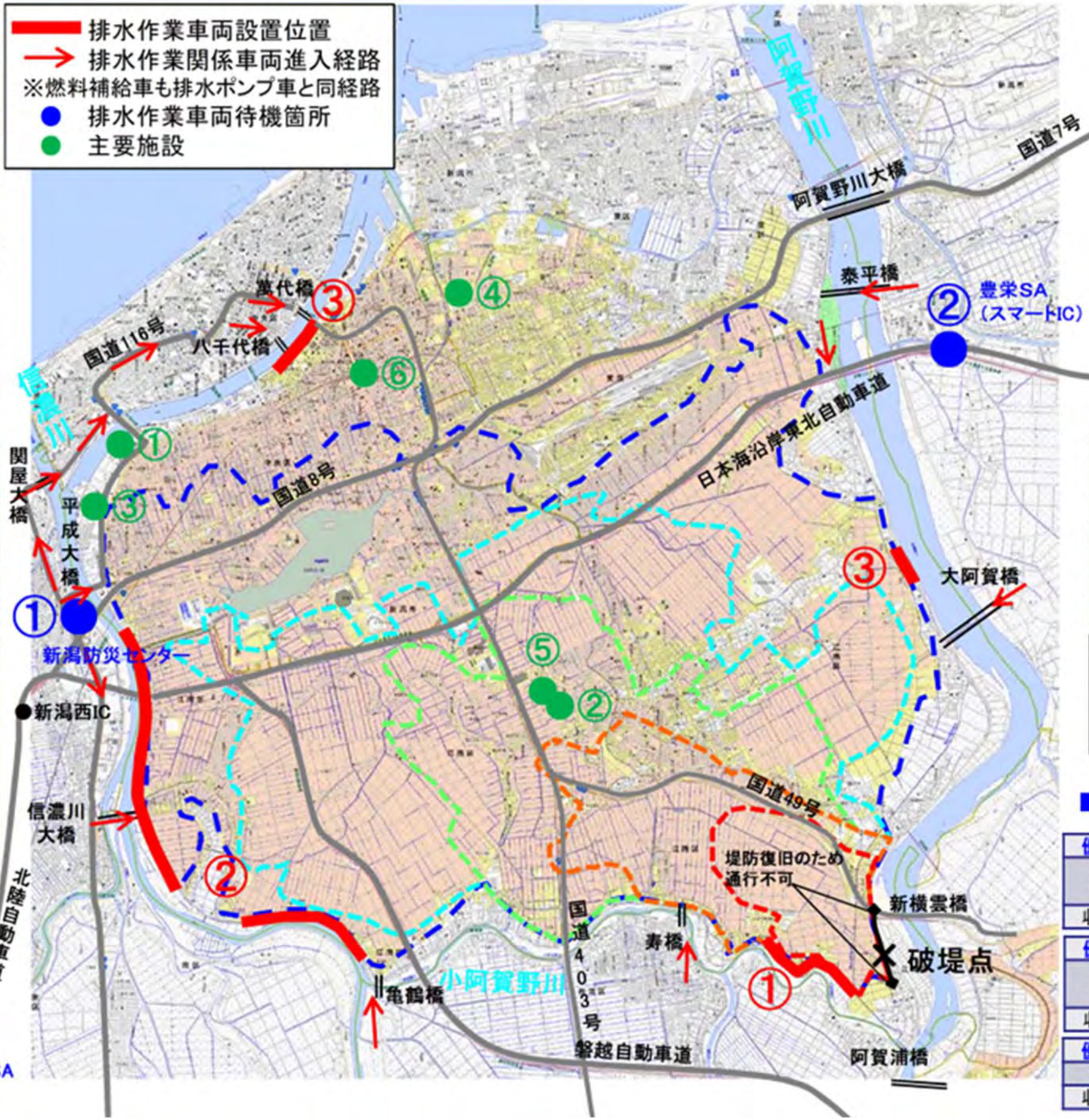
優先度③	排水ポンプ車配置箇所
区間	信濃川本川下流右岸4.0'k～5.0'k付近 信濃川本川下流部右岸堤防上
設置台数	他地方整備局派遣40台
アクセスルート	①新潟防災センター⇒関屋大橋⇒国道116号⇒八千代橋⇒信濃川右岸堤防
氾濫特性等	破堤後長時間かけて氾濫流が信濃川下流部の堤防際に到達する可能性

優先度③	排水ポンプ車配置箇所
区間	阿賀野川左岸7.0k～9.0k付近 (うち400m程度) 阿賀野川左岸堤防上
設置台数	他地方整備局派遣16台
アクセスルート	②豊栄SA⇒県道27号⇒大阿賀橋⇒阿賀野川左岸堤防
氾濫特性等	破堤後およそ半日かけて阿賀野川左岸堤防付近に到達する可能性

※アクセスルートが複数ある場合は最短を記載

アクセスルートの考え方

破堤点上流並びに破堤点～直下流第1橋の進入ルートは、破堤箇所の緊急復旧車両の通行を優先⇒
新横雲橋は排水作業関係車両は通行禁止(復旧工事関係車両専用のため)



凡例
浸水した場合に想定される水深(ランク別)
0.5m未満の区域
0.5～3.0m未満の区域
3.0～5.0m未満の区域
5.0～10.0m未満の区域

到達時間凡例	
赤破線	破堤後1時間
橙破線	破堤後3時間
緑破線	破堤後6時間
水色破線	破堤後12時間
青破線	破堤後24時間

■氾濫区域内の主要施設

No.	主要施設名称
①	新潟県庁、新潟県警察本部
②	新潟市江南区役所
③	北陸地方整備局
④	新潟市消防局東消防署
⑤	新潟市消防局江南消防署
⑥	JR新潟駅

※緊急輸送道路(第1次)
国道7号　国道8号
国道49号　国道116号
北陸自動車道　磐越自動車道
日本海沿岸東北自動車道　など

■ポンプ車待機箇所

優先度①	排水ポンプ車待機箇所
地点名	新潟防災センター (北陸技術事務所)
収容台数	75台

優先度②	排水ポンプ車待機箇所
地点名	日本海沿岸東北自動車道 豊栄SA
収容台数	161台(上下線合算)

優先度③	排水ポンプ車待機箇所
地点名	北陸自動車道 黒埼SA
収容台数	354台(上下線合算)

排水対策計画（Ｒ１ブロック）

排水対策計画イメージ(阿賀野川右岸11.0kで破堤した場合)

■ポンプ車配置案(優先度考慮)

優先度①	排水ポンプ車配置箇所
区間	阿賀野川9.0k～9.4k付近右岸堤防上
設置台数	他地方整備局派遣15台
アクセスルート	①豊栄SA⇒東北自動車道⇒県道16号⇒県道17号⇒大阿賀橋⇒阿賀野川右岸堤防
氾濫特性等	破堤後およそ3時間かけて阿賀野川右岸堤防付近に到達する。破堤点近傍の為、堤防復旧を考慮し排水活動ができる位置を大阿賀橋下流側に限定

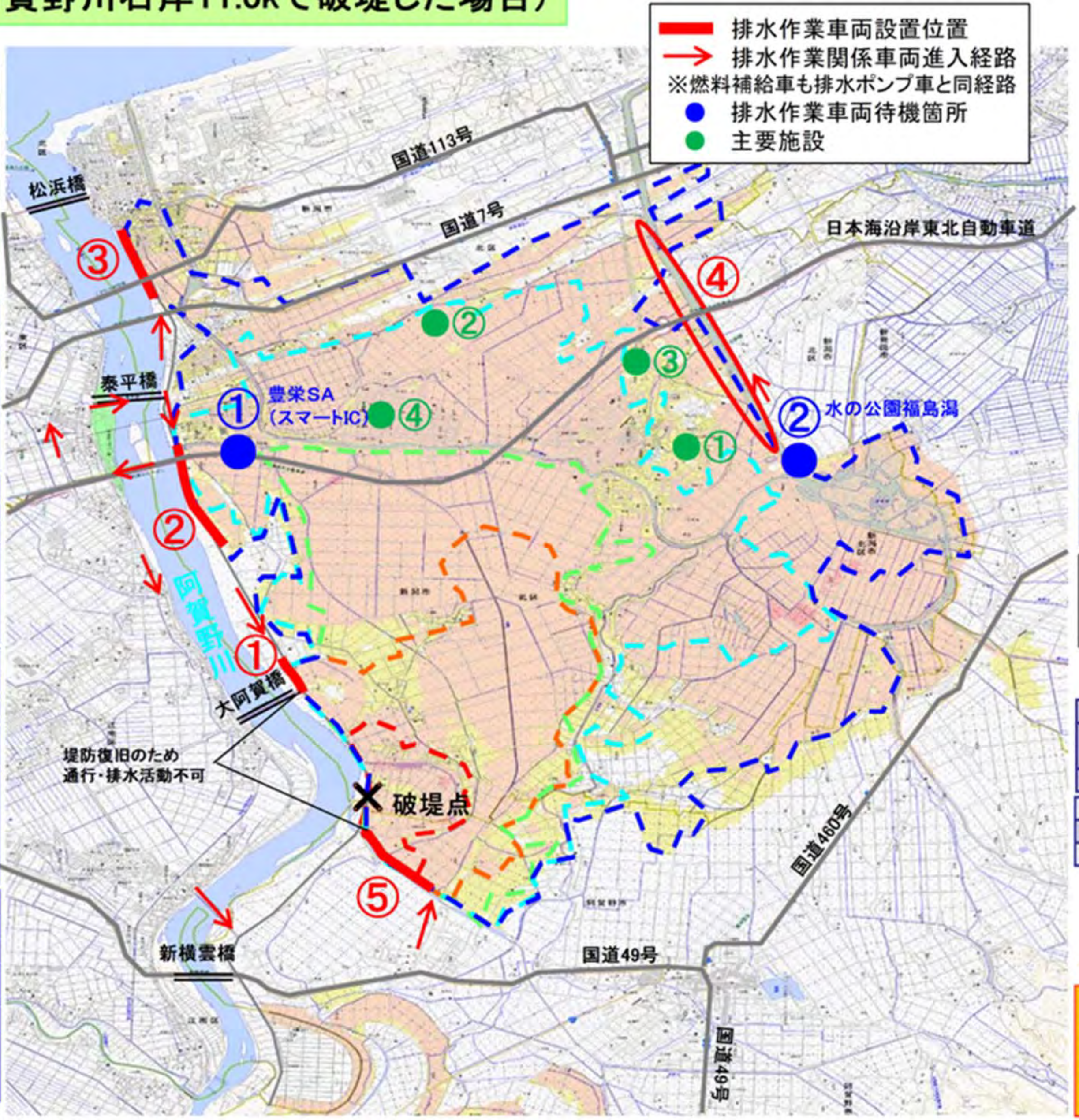
優先度②	排水ポンプ車配置箇所
区間	阿賀野川3.6k～6.8k付近右岸堤防上
設置台数	他地方整備局派遣55台
アクセスルート	①豊栄SA⇒新潟空港IC⇒泰平橋⇒阿賀野川右岸堤防
氾濫特性等	破堤後およそ半日かけて阿賀野川右岸堤防付近に到達する

優先度③	排水ポンプ車配置箇所
区間	阿賀野川1.4k～2.8k付近右岸堤防上
設置台数	他地方整備局派遣54台
アクセスルート	①豊栄SA⇒新潟空港IC⇒泰平橋⇒阿賀野川右岸堤防
氾濫特性等	破堤後およそ1日かけて阿賀野川右岸堤防付近に到達する

優先度④	排水ポンプ車配置箇所
区間	福島潟放水路左岸橋梁(9橋)付近
設置台数	他地方整備局派遣20台
アクセスルート	②水の公園福島潟⇒福島潟放水路右岸道路⇒排水活動実施橋梁
氾濫特性等	破堤後およそ1日かけて福島潟放水路左岸堤防付近に到達する。阿賀野川堤防付近に比較し、地盤高が低く、阿賀野川堤防で排水が不可となっても、長期間にわたって排水活動が可能

優先度⑤	排水ポンプ車配置箇所
区間	安野川右岸堤防上(1400m)
設置台数	他地方整備局派遣39台
アクセスルート	①豊栄SA⇒東北自動車道⇒阿賀野大橋⇒県道16号⇒松浜橋⇒県道17号⇒横雲橋⇒若松街道⇒阿賀野川右岸堤防
氾濫特性等	破堤後すぐに氾濫水が到達するが破堤点上流部のため、破堤地点の水位が破堤敷高を下回るまでは排水不可

※アクセスルートが複数ある場合は最短を記載



凡　例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0～10.0m未満の区域

到達時間凡例	
赤破線	破堤後1時間
橙破線	破堤後3時間
緑破線	破堤後6時間
水色破線	破堤後12時間
青破線	破堤後24時間

■氾濫区域内の主要施設

No.	主要施設名称
①	新潟市北区役所
②	新潟北警察署
③	新潟市消防局北消防署
④	豊栄駅

※緊急輸送道路(第1次)
国道7号　国道113号
国道49号　国道460号
日本海沿岸東北自動車道　など

■ポンプ車待機箇所

優先度①	排水ポンプ車待機箇所
地点名	日本海沿岸東北自動車道豊栄SA
収容台数	161台(上下線合算)

優先度②	排水ポンプ車待機箇所
地点名	水の公園福島潟
収容台数	普通車120台、大型車用5台

アクセスルートの考え方

破堤点上流並びに破堤点～直下流第1橋の進入ルートは、破堤箇所の緊急復旧車両の通行を優先⇒大阿賀橋は排水作業関係車両は通行禁止(復旧工事関係車両専用のため)

解禁日時：４月３日１４時

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

同時発表	北陸地方整備局／羽越河川国道事務所／阿賀野川河川事務所／信濃川下流河川事務所／信濃川河川事務所／高田河川国道事務所

平成 30 年 4 月 3 日
北陸地方整備局河川部

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を新潟県内の5 水系1 8 市町村に配信します!

～洪水の危険性を流域住民へ迅速に情報提供し、主体的な避難を促進～

北陸地方整備局では、平成３０年５月１日から緊急速報メールを活用した洪水情報※1のプッシュ型配信※2を新潟県内の国管理河川５水系１８市町村で配信します。

※１　「洪水情報」とは、指定河川洪水予報の氾濫危険情報（レベル４）及び氾濫発生情報（レベル５）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。
※２　「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

国土交通省では、「水防災意識社会　再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成２８年９月から、国が管理する２河川（鬼怒川、肱川）の沿川市町村（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。

１　エリア拡大開始日
平成３０年５月１日（火）

２　配信対象
国が管理する５水系の
１８市町村（別表による）

３　配信対象者
配信エリア内の携帯電話等
（NTTﾄﾞｺﾓ、KDDI・沖縄ｾﾙﾗｰ、ｿﾌﾄﾊﾞﾝｸ（ﾜｲﾓﾊﾞｲﾙ含む））のユーザーを対象

「洪水情報のプッシュ型配信」イメージ

４　配信する情報
対象河川において、「河川氾濫のおそれがある（氾濫危険水位を超えた）情報」及び「河川氾濫が発生した情報」を配信

５　留意事項
・携帯電話事業者毎の基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。
・携帯電話等の電源が入っていない場合や、圏外、電波状況の悪い場所、機内モード時、通話中、パケット通信中の場合は受信することができません。
・ご利用の機種により、緊急速報メールに対応していない場合があります。
・緊急速報メールを受信するために、受信設定が必要な場合があります。詳細については、各携帯電話事業者のホームページよりご確認ください。
NTT ドコモ：https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/compatible_model/index.html
KDDI･沖縄セルラー：http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/enabled-device/
ソフトバンク：http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/models/
ワイモバイル：http://www.ymobile.jp/service/urgent_mail/

【同時発表記者クラブ】
・新潟県政記者クラブ
・新県政記者クラブ
・富山県政記者クラブ
・石川県政記者クラブ
・福島県政記者クラブ
・長野市政記者クラブ

【問い合わせ先】
国土交通省　北陸地方整備局
河川部　水災害対策専門官　　佐々木　利幸

TEL 025-370-6770
FAX 025-370-6781

緊急速報メールを活用したプッシュ型による洪水情報の配信にあたっての注意事項

① 洪水情報に関すること

- ■ 今回のメール配信は、携帯電話事業者（NTT ドコモ、KDDI・沖縄セルラー、ソフトバンク（ワイモバイル含む）が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報※を携帯電話等ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

※洪水情報とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル４）及び氾濫発生情報（レベル５）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

- ■ 河川情報の詳細（河川管理者が行う洪水予報等）は、「川の防災情報」（http:/www.river.go.jp/）等で各自ご確認いただきますようお願いします。
- ■ メール配信の内容については、受信した者の責任において確認した上で、必要に応じて、防災無線、テレビ、ラジオ等を活用し、適切な避難行動をとってください。
- ■ 「河川氾濫発生」についてのメール配信は、河川管理者が氾濫を把握した後の配信となることをご了承下さい。
- ■ メールを受信したこと又は受信できなかったことに起因した損害について、国土交通省及び携帯電話事業者は一切責任を負いません。ご了承ください。
- ■ メール配信を予定した事象が発生した場合であっても、機器の不具合等により、メール配信しない場合があります。
- ■ メール配信の内容の有効期限は定めませんが、受信後、時間を経ると河川の状況は変化し、配信したメールの内容と異なることとなります。
- ■ 河川状況に伴ったメール配信に関する問い合わせは、以下のとおりです。

整備局等名	管轄する水系名	問い合わせ先 （上段：非常時） （下段：通常時）
北陸地方整備局	阿賀野川、信濃川、関川、荒川、姫川	025-370-6723 025-370-6770

②緊急速報メールに関すること

- ■ 携帯電話事業者毎の基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。
- ■ 携帯電話等の電源が入っていない場合や、圏外、電波状況の悪い場所、機内モード時、通話中、パケット通信中の場合は受信することができません。
- ■ ご利用の機種により、緊急速報メールに対応していない場合があります。
- ■ 緊急速報メールを受信するために、受信設定が必要な場合があります。詳細については、各携帯電話会社のホームページよりご確認ください。

・NTT ドコモ

https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/compatible_model/index.html

・KDDI、沖縄セルラー

http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/enabled-device/

・ソフトバンク

http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/models/

・ワイモバイル

http://www.ymobile.jp/service/urgent_mail/

③都道府県別の洪水情報の配信対象（市町村）一覧

別表のとおり

別表　北陸地方整備局　洪水情報の配信対象一覧（平成30年4月3日時点）

アンダーライン：平成30年度に拡大配信する水系及び市町村です。

配信対象となる市町村名	水系名	河川名	基準観測所名（位置）	受持区間	配信開始日
新潟県　関川村	荒川	荒川	上関（左岸）（新潟県関川村）	左岸：関川村下川口～村上市境界 右岸：関川村湯沢～村上市境界	H29.5.22
新潟県　村上市、胎内市			葛籠山（右岸）（新潟県村上市）	左岸：村上市貝附～海 右岸：村上市小岩内～海	H29.5.22
新潟県　新潟市中央区、東区、江南区、秋葉区	阿賀野川	阿賀野川	満願寺（左岸）（新潟市秋葉区）	左岸：新潟市秋葉区下新～新潟市東区松浜	H29.5.1
新潟県　新潟市江南区、北区、阿賀野市			満願寺（右岸）（新潟市秋葉区）	右岸：阿賀野市千唐仁～新潟市北区松浜	H29.5.1
新潟県　新潟市江南区、北区、阿賀野市、五泉市			馬下（新潟県五泉市）	左岸：五泉市馬下～新潟市秋葉区下新 右岸：阿賀野市小松～阿賀野市千唐仁	H29.5.1
新潟県　燕市、加茂市、新潟市南区	信濃川	信濃川（下流）	尾崎（新潟県三条市）	左岸：燕市大川津～加茂市五反田 右岸：長岡市中条新田～加茂市下仲組	H29.5.1
新潟県　加茂市、田上町、新潟市南区、秋葉区			保明新田（新潟県田上町）	左岸：加茂市五反田～新潟市南区西酒屋 右岸：田上町保明新田～新潟市江南区覚路津	H29.5.1
新潟県　新潟市南区、江南区、西蒲区、西区、中央区、東区		信濃川（下流）、関屋分水路	帝石橋（新潟市西区）	関屋分水路　左岸：信濃川からの分派点～海 右岸：信濃川からの分派点～海 信濃川（下流）左岸：新潟市南区西酒屋～海 右岸：新潟市江南区酒屋～海	H29.5.1
新潟県　新潟市南区、西区、西蒲区、燕市、見附市、長岡市、弥彦村	信濃川	信濃川（中流）大河津分水路	大河津（新潟県燕市）	左岸：長岡市与板町本与板～長岡市寺泊野積 右岸：長岡市並木新田～長岡市寺泊野積	H29.5.1
新潟県　見附市、長岡市、弥彦村		信濃川（中流）	長岡（新潟県長岡市）	左岸：長岡市浦～長岡市与板町本与板 右岸：長岡市浦～長岡市並木新田	H29.5.1
新潟県　見附市、長岡市、弥彦村、小千谷市		信濃川（中流）	小千谷（新潟県小千谷市）	左岸：長岡市西川口～長岡市浦 右岸：長岡市西川口～長岡市浦	H29.5.1
新潟県　長岡市、小千谷市、十日町市		信濃川（中流）	十日町（新潟県十日町市）	左岸：十日町市宮中堰堤～長岡市西川口 右岸：十日町市宮中堰堤～長岡市西川口	H29.5.1
新潟県　長岡市、魚沼市、南魚沼市	信濃川	魚野川	堀之内（新潟県魚沼市）	左岸：魚沼市四日町～長岡市西川口 右岸：魚沼市四日町～長岡市西川口	H29.5.1
新潟県　魚沼市、南魚沼市			小出（新潟県魚沼市）	左岸：南魚沼市五箇～魚沼市四日町 右岸：魚沼市岡新田～魚沼市四日町	H29.5.1
新潟県　魚沼市、南魚沼市			六日町（新潟県南魚沼市）	左岸：南魚沼市五日町～南魚沼市五箇 右岸：南魚沼市麓～魚沼市岡新田	H29.5.1
新潟県　上越市 ※ただし、「氾濫が発生した情報」のみ	関川	関川	高田（新潟県上越市）	左岸：上越市島田～河口 右岸：上越市新長者原～河口	H30.5.1
新潟県　糸魚川市	姫川	姫川	山本（新潟県　糸魚川市）	左岸：糸魚川市須沢～糸魚川市山本 右岸：糸魚川市寺島～糸魚川市根小屋	H29.5.22

（参考資料）

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

国土交通省　北陸地方整備局

平成30年4月

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成３０年５月１日より新潟県内の５水系１８市町村で洪水情報を配信します～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、国が管理する2河川（鬼怒川、肱川）の沿川市町村（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において緊急速報メールを活用した洪水情報※1のプッシュ型配信※2に取り組んでいます。
北陸地方整備局では、平成30年5月1日より新潟県内の国管理河川5水系18市町村に配信します。

※１　「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル４）及び氾濫発生情報（レベル５）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。
※２　「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

配信内容①

１　エリア拡大開始日

平成３０年５月１日（火）

２　配信対象

国が管理する新潟県内の５水系１８市町村（詳細は、別表による）

３　配信対象者

配信対象エリア内の携帯電話（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー、ソフトバンク（ワイモバイル含む））のユーザーを対象

４　配信情報

対象河川において、「河川氾濫のおそれがある（氾濫危険水位を超えた）情報」及び「河川氾濫が発生した情報」を配信

段階	配信情報	配信契機
①	河川氾濫のおそれがある情報	対象河川の基準観測所の水位が氾濫危険水位に到達し、氾濫危険情報が発表された時
②-Ⅰ	氾濫が発生した情報 （※河川の水が堤防を越えて流れ出ている情報）	対象河川の基準観測所の受持区間で河川の水が堤防を越えて流れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時
②-Ⅱ	氾濫が発生した情報 (※堤防が壊れ河川の水が大量に溢れ出している情報)	対象河川の基準観測所の受持区間で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時

配信内容②

５　配信文案

対象河川において、「河川氾濫のおそれがある（氾濫危険水位を超えた）情報」及び「河川氾濫が発生した情報」を緊急速報メールを活用して配信されます。

○配信文案例

①河川氾濫のおそれ

【見本】
（件名）
河川氾濫のおそれ

（本文）
○○川の○○（○○市○○）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
本通知は、○○地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

（国土交通省）

②－ⅰ　河川氾濫発生（河川の水が堤防を越えて流れ出ている時）

【見本】
（件名）
河川氾濫発生

（本文）
○○川の○○市○○地先（左岸、東側）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
本通知は、○○地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

（国土交通省）

②－ⅱ　河川氾濫発生（堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時）

【見本】
（件名）
河川氾濫発生

（本文）
○○川の○○市○○地先（左岸、東側）付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています。
防災無線、テレビ等により自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
本通知は、○○地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

（国土交通省）